

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 団体用 )

## I 基本事項

整理番号 628

事業名	農村地域農政推進事業(担い手育成支援事業)		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	農業振興費・3目	
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		南あわじ市補助金等交付規則		
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり		
	まちづくりの目標		ふやさんか 食づくりの担い手【農漁業】		
	施策目標		食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる		

## II Plan&amp;Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

事務概要	目的	対象(誰を、どのような状況の人を、構成員内訳)			
		南あわじ市地域担い手育成総合支援協議会(市内の認定農業者・若手農業者・女性農業者・定年帰農者・新規就農者を始とした、南あわじ市の産地を形成する農業者)			構成人数(人) 2,500
		活動目的(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 農業者同士の横の繋がりを密にし、お互いの資質と栽培技術の向上、経営改善を目的とした研修や情報交換を行う。 農業振興部内の農業振興・農政事務にかかる経費の一部を担う。			
	実施内容	(主な事業、活動内容等) 総会の開催・認定農業者のフォローアップ活動・認定農業者連絡協議会への活動支援・女性農業者や定年帰農者への支援・集落の組織化についての支援			
	団体の概要	(どのような団体か、活動目的、活動内容など) あわじ島農協・酪農協・県普及センター・市農業委員会・市が構成する協議会。			
		事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input type="checkbox"/> 補助団体	<input checked="" type="checkbox"/> 市役所	<input checked="" type="checkbox"/> 市単位 (農林振興課) <input type="checkbox"/> 旧町単位 ( ) <input type="checkbox"/> 旧村単位 ( )
	補助金算出根拠	定額875千円			
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし				
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から 旧の地域農政推進事業(国庫)の組み換え事業。				

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
資源配分 インプット	直接事務費 (千円)	0	875	1,620	1,620
	担い手育成支援事業	0	875	1,620	1,620
	事務局事務費(市が事務局の場合)				
	財 源 (千円)				
	国				
	県				
	起債				
	その他				
	一般財源[A]	0	875	1,620	1,620
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)				
	事業量2(事業に要した人数)				
	年間経費([A]+[B])	0	875	1,620	1,620
「構成人数」一人当り経費 (千円)	0.0	0.4	0.6	0.6	
受益者人数(2,500)1人当り経費(千円)	0.0	0.4	0.6	0.6	
経費に関する 補足説明					

### Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) この事業により、各農業者同士の横の繋がりを密にし、お互いの資質と栽培技術の向上、経営改善や情報交換へのおおきなきっかけとなっており、南あわじ農業の活性化に必要な事業となっている。	自己評価 (5点評価)
		3
必要性	公共性の高低 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低 (公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 対象者からのニーズはかなり大きく、市の独自性のある農業振興施策を展開するために大きな役割を担っている事業である。ただし、公共性を考えると決して高くはない。	自己評価 (5点評価)
		3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 本事業により、市の独自性のある農業施策が展開できると共に担い手農業者の経営支援・情報交換の場も提供でき、加えて市の事務的経費の一部も担っているため、現状維持をしていくことが適当と考える。	<div style="text-align: center;"> <p>評価グラフ</p> <p>費用対効果      必要性</p> </div>

## IV Action&amp;Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>本事業により、市の独自性のある農業施策が展開できると共に担い手農業者の経営支援・情報交換の場も提供でき、加えて市の事務的経費の一部も担っているため、現状維持をしていくことが適当と考える。</p>	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>市で独自性のある農業振興施策が実施できなくなると共に、農業振興・農政事務の事務経費の一部も担っていることから、通常事務にも支障が出る。</p>	